

合格者の皆様へ

文教大学 教育学部 発達教育課程 児童心理教育専修

## 合格者課題レポートの提出について

2025 年 4 月に文教大学 教育学部 発達教育課程 児童心理教育専修に入学予定の皆様、  
下記の課題を提示致します。

### 1. 必須課題

下記の①～④の課題図書から一冊を選んで読み、自らの考えを論じるレポートを 1,200 字程度にまとめて作成し、下の提出先宛に郵送してください。提出されたレポートは、皆さんに入学後、お返しします。

#### (ア) 課題図書

- ① 『教師の心のスイッチ』 菅野純 著（ほんの森出版）
- ② 『やれば出来る！子どもによる授業』 小幡肇 著（明治図書）
- ③ 『子どもの社会力』 門脇厚司著（岩波新書）
- ④ 『居るのはつらいよーケアとセラピーについての覚書』 東畑開人著（医学書院）

#### (イ) 提出フォーマット

レポートは、パソコン（ワード等のワープロソフト使用）で、40 字×36 行の A4 版 1 枚に収まるように作成してください。レポートは横書きでお願い致します。

(ウ) 提出期限 2025 年 3 月 29 日（土）必着のこと

(エ) 提出先 〒343-8511

埼玉県越谷市南荻島 3337

文教大学 教育学部 初等・児童・幼児教育準備室 宛

ただし、「～合格者課題レポート在中～」と朱書きのこと

### 2. 自由課題（別紙参照）

新入生の皆様にお会いできることを楽しみにしています。

以 上

### 自由課題「教師 1 日体験（教師をめざすみなさんへ）」

※この自由課題については、実施が望まれますが、時間に余裕がない人、あるいは、学校の事情で実施できない人は、無理に実施しなくても構いません。

**目的：**教師は、医師や弁護士、看護師などと同様、「高度専門職業人」といわれています。高度専門職業人には常に自己成長が求められますが、その自己成長に欠かせないのが、理論と実践を往還させることです。教師志望者にとっての理論は、大学での学びであり、実践は、小・中・高校での教師としての経験です。教師の経験が何もない状態で大学の学びが始まるのではなく、教師をめざす「大学での学び（理論）」の前に、自分の学校（高校）で、教師の仕事（実践）に触れることで、大学での学び（教職課程）のスタートを深化させることをねらいとしています。

**内容：**教師 1 日体験を行って、所定のレポート用紙にレポートを作成し（A 4 で 1 枚）、期日までに E メール（以下、メール）で提出します。なお、レポートを提出された場合には、現大学 4 年生からのコメントが付され、メールで返却されます。

締め切り日：2025 年 2 月 20 日（木）

※自由課題について、実施希望の申し出があった方のみ、所定のレポート用紙ならびに提出方法などをメールでお知らせします。

**教師 1 日体験について：**1 日体験とありますが、提出するレポートを作成するのに、複数日の体験を記しても大丈夫です。また、1 人の先生だけにつくのではなく、複数人の先生についても構いません。なお、実際に体験できないところは、先生へのインタビューをもってレポートを作成します。

**手続き：**自由課題を行おうと考える人は、2024 年 12 月 11 日（水）までに次のメールアドレスに「自由課題を希望する」と「担任の先生の氏名」を記して申し出てください。皆さんからの申し出を受けて、大学から在籍高校の校長先生および担任の先生宛に依頼文書を送付いたします。校長先生および担任の先生に依頼文書を確認していただき、許可がおりてから教師 1 日体験を実施するようにしてください。

【実施希望申し出先および本件に関する問い合わせ先】

mkoba98@bunkyo.ac.jp（児童心理教育専修教授 小林稔）

※希望する場合は、本件に関する詳細な説明をオンライン等ですることが可能です。